

授業科目 アスレティックトレーナー総合実習 II

| 【担当教員名】 柵木 聖也、永野 康治 | | 対象学年 | 4 | 対象学科 | スポ |
|---|--|---|----------------------|------------|----|
| | | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 選択 |
| | | 単位数 | 2 | 時間数 | 90 |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 【概要・一般目標：G10】 アスレティックトレーナーに必要なとされる知識と技術を、実際にスポーツ現場で展開し、より実践力のあるアスレティックトレーナーを目指す。 | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 日本協公認アスレティックトレーナーまたは公認スポーツドクターが活動しているスポーツ現場へ参加し、そこで必要とされる様々なアスレティックトレーナーとしての技術と知識を自分のものとして定着させる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SB0 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 | | |
| | 本実習での具体的な学習内容は、下記のとおりである。 (1) 見学実習 (2) 検査・測定と評価実習 (3) アスレックリハビリテーションプログラム作成実習 (4) スポーツ現場実習 (ストレッチング、テーピング、応急処置等) (5) アスレックリハビリテーション実習 (プログラム作成、実施等) (6) 総合実習 | | | | |
| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> | |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | 公認アスレックトレーナー 専門科目テ | (財) 日本体育協会 | (財) 日本体育協会 | キスト1~9 | |
| 参考書 | | | | | |
| その他の資料 | | | | | |
| 【評価方法】 レポート課題を課すとともに、現地視察および報告会を実施し、それらの結果を総合的に判断して評価する。 | | 【履修上の留意点】 上記の内容を、日本協公認AT または公認スポーツドクターのいる現場で学習する。日本協によって一日の最大学習時間は3時間、一週間の最大学習日数は5日間という形で上限が定められているため、履修には相当の期間が必要であることを念頭に置いて欲しい。 | | | |